

博物館教育論第8講 ミュージアムの教育活動

1. 博物館の教育活動 音声ファイル1 kyoiku2020_8-5.mp3

1) 博物館法での規定

博物館の教育活動は、広く考えれば展示、場合によっては出版を含む。知識を広く行き渡らせるという意味で「普及活動」「教育普及活動」という言葉も使われる。狭く捉えれば普及活動から展示や出版を除いて、利用者への直接の活動だけを指す。本講でも博物館法の「博物館の事業」の区分けから利用者個人への直接的な活動を取り上げる。

ユーチューブです
ぜひ見てみて下さい



Museum of the North - University of Alaska
Museum のバックヤードツアーのスライドショー
<http://www.youtube.com/watch?v=ZcILqQESEj0>

(博物館の事業)

第三条 博物館は、前条第一項に規定する目的を達成するため、おおむね次に掲げる事業を行う。

三 一般公衆に対して、博物館資料の利用に関し必要な説明、助言、指導等を行い、又は研究室、実験室、工作室、図書室等を設置してこれを利用させること。

六 博物館資料に関する案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。

○七 博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。

八 当該博物館の所在地又はその周辺にある文化財保護法（昭和二十五年法律第二百十四号）の適用を受ける文化財について、解説書又は目録を作成する等一般公衆の当該文化財の利用の便を図ること。

九 社会教育における学習の機会を利用して行つた学習の成果を活用して行う教育活動その他の活動の機会を提供し、及びその提供を奨励すること。

十 他の博物館、博物館と同一の目的を有する国の施設等と緊密に連絡し、協力し、刊行物及び情報の交換、博物館資料の相互貸借等を行うこと。

十一 学校、図書館、研究所、公民館等の教育、学術又は文化に関する諸施設と協力し、その活動を援助すること。

本講では七を対象とする。教育論では後の回で六と八、2年生科目の生涯学習概論で十一を取り上げる。

2) 条文の単語の意味

条文に記載された教育活動の内容はおおむね下のようになる。用語の使い分けは厳密ではなく、流行があり、目新しさを求めた名称も見られ、博物館によっても異なることがある。

講演会 教室形式での講義（レクチャー）、座学。特別展や企画展などの展示に関連した行事など

講習会 少人数での実習、実技指導、講習会。講座やワークショップという場合あり

映写会 博物館法制定時には映画上映を想定。講演会や講習会で実施されることも多い

研究会 熱心な利用者や素人研究者も含んだ学術的な集まり。シンポジウムやフォーラムが含まれる

シンポジウム symposium 〔「共に飲む」意のギリシャ語から〕 一つの問題について、数人の人が意見を発表し、それについての聴衆の質問に答える形で行われる討論会。公開討論会。シンポ。

フォーラム forum 古代ローマの都市中央にあった広場。集会用や討論会が開かれた。転じて、集会所のこと。→フォーラム・ディスカッション〔古代ローマのフォーラムで行われたことから〕一つ的话题に対して、出席者全員が参加して行う討論。また、その方式。集团的公開討議。フォーラム。

等 博物館法の趣旨に反しない限り何をやっても自由。たとえば展示解説（ギャラリートーク）、バックヤードツアーなど。日程を定めず何時でも対応可能（オンデマンド）なメニューも存在する。

2. 事例

1) 斜里町立博物館の活動 [kyoiku2020_8-2.pdf](#)

研究報告がウェブ公開されている同館の教育活動は下のとおり。ただし年報にあたる活動報告は2016（平成28）年度が最新である。この博物館では主として展示に関連した外部講師中心のレクチャーを「講演会」、学芸員や外部講師であっても小規模な活動は座学も講習会も「講座」と使っている。講座は学齢向けが多いが一般向けもあり、小中学校や自治会（町内会）に向けた活動、高齢者向け「生きがい大学」の分担などは公立博物館らしい活動である。内容は学芸員の専門が現れている。これは学芸員が出来ることがその範囲という面もあるが、利用者が学芸員の専門分野の話を聞きたいとする要望、専門分野がある程度は地域に知られているなどの理由による。

研究報告 第40集 [SHIRETOKO MUSEUM] <http://shiretoko-museum.mydns.jp/shuppan/kempo/kempo40>

2016（平成28）年度活動報告 http://shiretoko-museum.mydns.jp/_media/shuppan/kempo/4008s_museum2016.pdf

2) 北海道立北方民族博物館 [kyoiku2020_8-3.pdf](#) [音声ファイル2 kyoiku2020_8-6.mp3](#)

子ども向けを含め北方民族の文化に特化した独自の内容。ここで考えるべきは、道立であること。受益者は道民全体であるが、現実には網走近隣の住民となっている。北海道のように広い自治体では常に問題となることで、受益者数や遠方からの利便性を考えれば札幌に立地することが現実的であるが、それではすべてが札幌に集積してしまう。そこで道南、道北、同等の各圏域に美術館を配置（函館、旭川、帯広）、それがなかったオホーツク地方に北海道立北方民族博物館を置いたといえる（さらに釧路に芸術館を設置）。

北方民族博物館公式サイト：もよおし

<http://hoppohm.org/event/index.htm>

ユーチューブです
ぜひ見て下さい

3) 館内外での教育活動の違い

館内での教育活動は利点が多い。①展示室や資料そして関連出版物が手近にあって使いやすい、②建築が特徴ある内装や独特の空間を持ち参加者に特別感を抱かせる、③設備や機材が手慣れたもので最適化されている。

博物館から外に出て行なう教育活動は館外活動（アウトリーチ活動、出前〇〇）と呼ばれる。館主催の活動のほか、学芸員が他機関から依頼を受けて行う活動もある。野外での活動では観察会（植物、きのこ、化石、鉱物、地層、気象、天体など）やキャンプでの指導、市民調査まで幅広い。市民調査も調査の過程は教育／学習活動でもある。室内での活動は学校や公民館、観光施設やホテルなどでの従業員研修なども受け持つことがある。

4) 考えたいこと

利用者に直接対応する教育活動は対象者がきわめて少人数であり、結果的に特定の人だけが受益者になってしまう可能性がある。また、高度な内容をほぼ対価を得ないでおこなうため、考え方によっては民業圧迫といえるかも知れない。



The Children's Museum of Indianapolis の俳優によるライブパフォーマンス。日本では少ない
<http://www.youtube.com/watch?v=4IOPJ4CLiVE>



年1回開かれる科博の研究室案内

https://www.kahaku.go.jp/event/2020/11/open_labo/
2019 https://www.kahaku.go.jp/event/2019/04/open_labo/
2018 https://www.kahaku.go.jp/event/2018/04/open_labo/

3. 動物園水族館の教育活動

1) JAZAハンドブックから

日本動物園水族館協会（JAZA）では動物園と水族館に分けて技術的な教本を刊行している。最新版は今年刊行の「改訂版 新・飼育ハンドブック」であるが未購入のため「新飼育ハンドブック4：展示・教育・研究・広報」（2005/2006）から「教育」の目次を拾ってみた。そこに並ぶ文字は一般の博物館と同様の内容である。特徴はもちろん生体がそこに居ることであるが、それに加え特に動物園では広大な敷地、園内に生息生育する動植物も利用可能なことである。

動物園編

教育内容

1. 自然教育
2. 環境教育
3. 情操・愛護教育
4. 生体を使った教育

教育対象

ガイド

学習会

子どもと動物園

1. 子どもと動物園とは
2. 教育活動の実践

自然観察会

出張授業

移動動物園

教材貸し出し

動物相談

情操機器を使った教育

実習

友の会

教育施設と機材

水族館編

1. 自然教育
2. 環境教育
3. 情操・愛護教育

ガイド

学習会

右の集まりの解説は次ページ4でやります

自然観察会など

出張授業

移動水族館

教材貸し出し

レファレンス・サービス

情操教育

実習・職場体験

友の会

映写会・講演会など

教育施設と教材

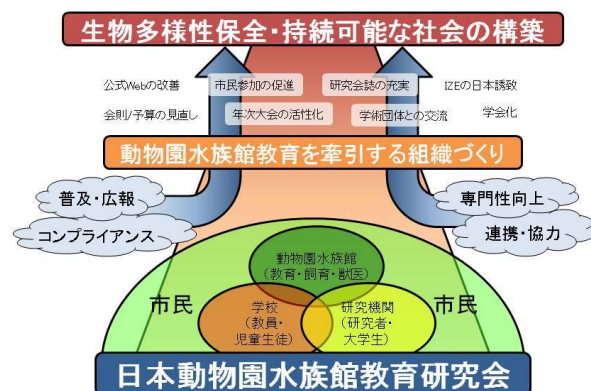
教育機材

2) 調査研究 音声ファイル3 kyoiku2020_8-7.mp3

新しい教育モデルプログラム～動物園・水族館を利用した生涯学習の展開～（2001） kyoiku2020_8-4.pdf

https://www.jaza.jp/assets/document/about-jaza/education-committee/report_2001.pdf

2002（平成14）年度から小中学校で完全実施された「総合的な学習の時間」（総合学習）への対応が前半分を占め、学校からの報告がなされている。後半は園館での解説のあり方。インタープリテーション interpretation（解釈通訳）という言葉が使われているが、通り一遍の説明ではなく解説者が理解解釈したことを利用者にその人の言葉で伝えるというニュアンス。一種の流行言葉あるいは研究者やコンサルタントの売り込み用語であり一般には通じにくいので案内ガイドと読んだ方がよい。見るべきは73p以降の総合学習対応のモデルプログラム。



Zoo 教研の未来に向けて <https://jzae.jp/future/>



AZEC について <https://jzae.jp/azec2013/about.html>

「動物園・水族館における生涯学習活動を充実させるための調査研究」報告書（2000）

https://www.jaza.jp/assets/document/about-jaza/education-committee/report_2000.pdf

20年前の園館の教育活動の実態調査。課題とされたのは、（教育）専門スタッフの導入、研修の実施、マニュアルの作成、学校との連携の確立、などであり今日にも共通する内容である。20年前との大きな違いはスマホの普及とwifi環境の充実といった情報技術の部分であり、動物園水族館の教育活動の本質部分はおなじである。

3) 教育活動の企画

動物園水族館と博物館の教育活動を企画する要点はおなじである。次のような項目について検討し、現実を理想に近づける努力をするのみ。

目的 設置目的、使命、特別展開連事業、研究成果発表、相手方からの依頼

対象 年齢、性別、職業、居住地、知識、要求内容

目標 参加者の到達目標、集客人数、自身の目標

方法 講演、講座、映像（映画）、展示、お祭り

会場 自館、他の博物館、学校、社会教育施設、商業施設、野外、その他

事前準備 広報、資料、資材、機材、設営

当日運営 設営、司会進行、スケジュール、照明音響など機器操作、後片付け

事後作業 報告、出版、ウェブアーカイブ

将来への応用 展示、教育活動、運営方法、研究

4) 考えたいこと

園館での教育活動で意識したいのは生き物とは何かである。下の問い

「生きもの、生きている、生物、生命、いのち」違いは何か。「繁殖と生殖」はどう違うのか

「玉子、収蔵庫の種子、ヒール細胞」は生きています？ 生きもの？

ヒトはいつから人間か。人権はいつからあるのか。日本の民法では「第三条 私権の享有は、出生に始まる」だが、アメリカの保守派には「受精の瞬間」とさえする意見があり中絶は殺人とされる。

不死細胞ヒール-ヘンリエッタ・ラックスの永遠なる人生 http://jsv.umin.jp/journal/v61-2pdf/virus61-2_275-276.pdf

HeLa細胞 - Wikipedia <https://ja.wikipedia.org/wiki/HeLa%E7%B4%B0%E8%83%9E>

アメリカで中絶問題が政治争点化する理由 WEDGE Infinity（ウェッジ） <https://wedge.ismedia.jp/articles/-/16348>

4. 動物園水族館の教育活動の研究

1) 日本動物園水族館教育研究会（JAZE、Zoo教研）<https://jzae.jp>

1975年に日本の動物園に勤務する数名の職員有志によって結成、会の名称は当初は「動物園教育研究会」、その後「動物園水族館教育研究会」を経て現在に至る（「発祥と経緯」より）。

第59回日本動物園水族館教育研究会出雲大会要旨集 https://jzae.jp/wp/wp-content/uploads/2019/04/h30_jaze_youshi.pdf

2) 国際的な研究会

国際動物園教育者協会（IZEA：International Zoo Educators Association） <https://izea.net>

アジア動物園教育者会議（AZEC：Asian Zoo Educators' Conference） 常設サイトは無いもよう

2013年の大会は福岡で開催された。日本語ウェブサイトが現存する <https://jzae.jp/azec2013/about.html>

AZEC（アジア動物園教育担当者会議）2013【開催概要】 https://jzae.jp/azec2013/report_result.html

個別の報告はリンクをクリック